

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2026年日本陸上競技連盟規則および大会規定によって行う。

2 競技場の練習について

- (1) 本競技場の練習については、準備の邪魔にならないように競技開始30分前まで認める。26日(土)のみ、開会式の関係で40分前(8:40)に終了すること。競技開始後は補助競技場を使用すること。
- (2) メディシンボールの使用は補助競技場の指定された場所で行うこと。

3 招集について

- (1) 選手招集場は、雨天練習場に設ける。
- (2) 招集完了時刻は、トラック競技15分前、フィールド競技30分前とする。
但し、棒高跳については60分前とする。
- (3) 招集完了時刻に遅れた者は、失格とする。
- (4) 招集の手順
 - ① 招集開始時刻に競技者係の点呼を受ける。その際、アスリートビブスと競技用シューズの点検を受ける。
 - ② 招集時の代理人は認めない。
 - ③ 点呼の代理は認めない。2種目以上にわたって同時刻に出場する競技者は、あらかじめ本人が競技者係へ多種目同時出場届(競技者係に用紙あり)を提出し、あわせて招集に来ることが出来ない種目の点呼(アスリートビブス・腰ナンバーカード・スパイク・ランニングシューズなどの確認・点検)を受けておくこと。
 - ④ リレーについては両日11:00までに出場意思を確認。競技者係にあるスタートリストに○or×を記入する。
- (5) 混成競技は、最初の種目(第1日目、第2日目とも)を招集所で招集を受ける。また、2日目の最終種目については、番組編成を行うので招集場で招集を受ける。その他の種目は、現地招集とし、招集完了時刻については上記に準ずる。途中棄権する場合は、必ず総務に申し出る。

4 競技について

- (1) レーン順、試技順はすべてプログラム記載の番号順とする。
- (2) 男子100m・200m・110mH・3000m、女子100m・200m・800m・100mH、400mH・男女各リレー種目は、タイムレース決勝とする。ただし、男子100m・200mは予選を行い、上位24名が決勝進出とする。女子100m・200mは予選を行い、上位16名を決勝進出とする。
- (3) リレーのオーダー用紙は、招集開始時刻の2時間前から1時間前までに招集場に提出すること。
- (4) バーの上げ方は次の通りとする。(開始の高さについては出場者の実情に応じて設定する)
男子走高跳 1.40・60・75(練) 1.45-50-55-60-65-70-75-80 以後3cmきざみ
女子走高跳 1.15・35・45(練) 1.20-25-30-35-40-45-50 以後3cmきざみ
男子棒高跳 2m00~4m50(練) 2.00-20-40-60-80-3.00-20 以後10cmきざみ
女子棒高跳 1m80~3m50(練) 1.80-2.00-20-40 以後10cmきざみ
順位決定の際のバーの上げ下げは、走高跳2cm・棒高跳5cmとする。
- (5) やりは競技場備え付けのものを用意するが、検査を受けて自己の物を使用してもよい。但し、借り上げた後は検査を受けたやりはどれを使用しても良い。検査場所、時刻は下記の通り。
検査場所・・・100mゴール側用器具庫裏側
検査時刻・・・混成 2日目(9/27) 男子 9:10 ~ 9:30 女子 9:10 ~ 9:30
女子 2日目(9/27) 7:40 ~ 8:00
男子 2日目(9/27) 12:30 ~ 12:50
- (6) 棒高跳用ポールは自己のものを使用するものとするが、跳躍審判員の点検を受けること。
- (7) スパイクの長さは、9mmを越えてはならない。(走高跳、やり投は12mm)
- (8) 三段跳の踏切板は男子11m00 女子は9m00板を使用する。
- (9) 競技規則TR5.2に適合しないシューズの使用は認めない。ただし、サークルから行われる投てき種目用シューズについてはTR5.2の適用を除外する。